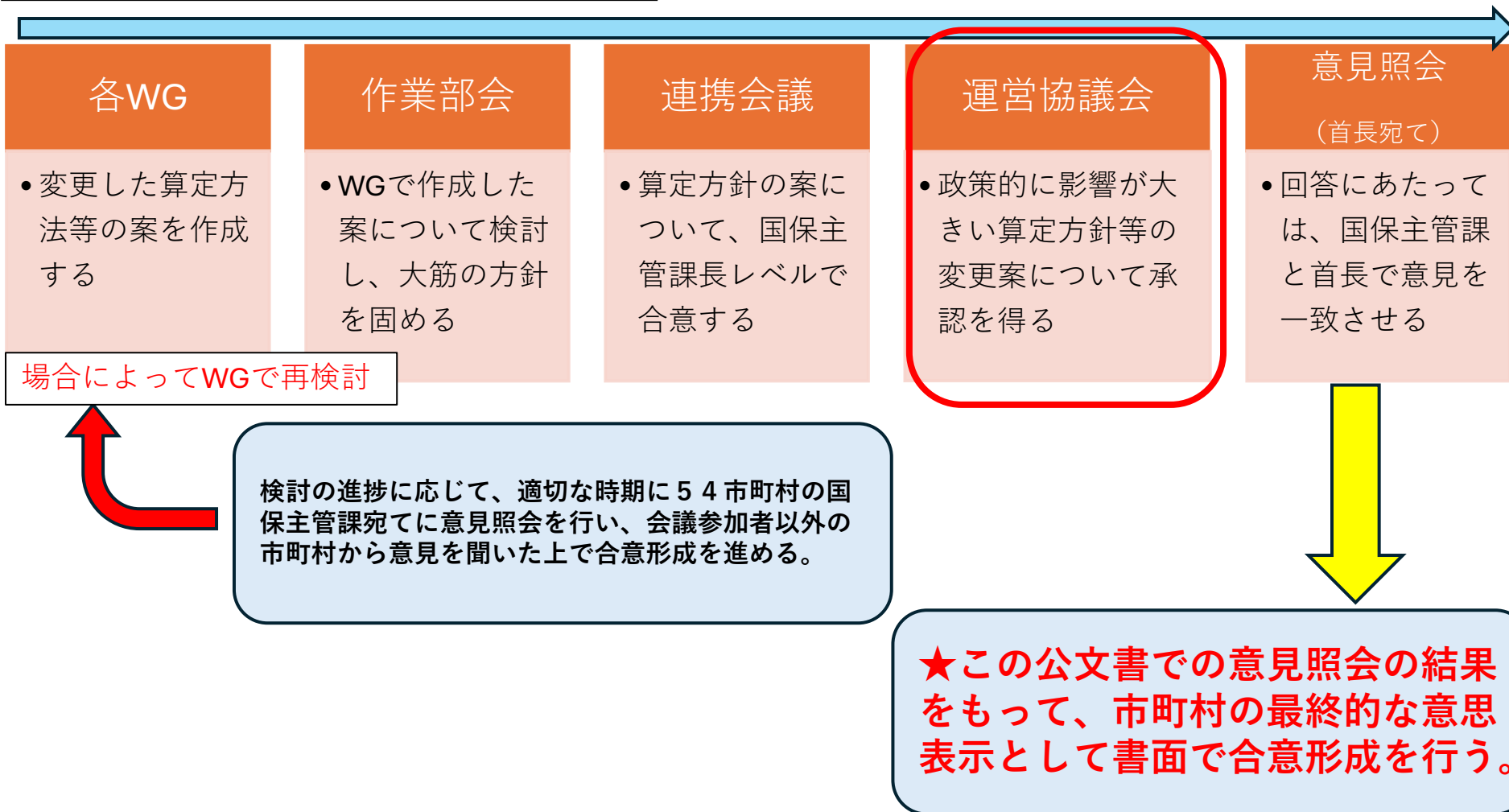


保険料水準の統一について

保険料水準の統一を達成するためには、現在市町村によって異なっている保険料の算定方法等について全市町村で統一する必要がある。政策的に影響が大きい変更であることから、市町村の意思として漏れなく合意形成を行うため、基本的に以下のようなフローで合意形成を図ることとしたい。



令和 7 年のワーキンググループ開催実績

日時	実施内容
R7/3/26	○令和 6 年度第 2 回賦課徴収ワーキンググループ 【主な議題】 1 条例減免基準の統一の考え方について 2 賦課限度額の設定時期の統一について 3 納期数、本算定、仮算定の統一について
R7/4/21	○令和 7 年度第 1 回歳入・歳出等ワーキンググループ 【主な議題】 1 賦課方式の統一について 2 応能：応益割合の統一について 3 保険料算定方法等の合意プロセスについて
R7/5/23	○令和 7 年度第 2 回歳入・歳出等ワーキンググループ 【主な議題】 1 県繰入金 2 号分及び保険者努力支援制度交付金の取扱いについて
R7/5/27	○令和 7 年度第 1 回賦課徴収ワーキンググループ 【主な議題】 1 決算補填等目的以外の法定外繰入の取扱いについて 2 標準的な収納率の設定について
R7/6/10	○令和 7 年度第 1 回保健事業等ワーキンググループ 【主な議題】 1 特定健診・特定保健指導の取扱いについて